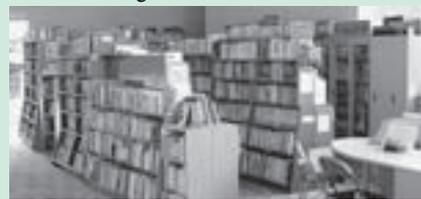


上野図書館	上野丸之内 40-5	☎ 21-6868
西柘植公民館図書室 (ふるさと会館いが内)	下柘植 6243	☎ 45-9122
島ヶ原公民館図書室 (島ヶ原会館内)	島ヶ原 4739	☎ 59-2291
阿山公民館図書室 (あやま文化センター内)	川合 3370-29	☎ 43-0154
大山田公民館図書室 (大山田教育センター内)	平田 3154	☎ 47-1175
青山公民館図書室 (青山公民館内)	阿保 1411	☎ 52-1110

図書館だより

Library Information



3月の読み聞かせ

絵本の時間

7日(水) 午前10時～1時間程度
ふるさと会館いが小ホール

おはなしの会

10日(土) *小さい子むき
24日(土) *大きい子むき
午後2時～30分程度

上野図書館2階 視聴覚室

読み聞かせの会

18日(日)、20日(火)
午前10時30分～30分程度

阿山公民館図書室 読み聞かせ室

えほんの森

21日(水・祝) 午後3時～30分程度
上野図書館2階 視聴覚室

*読み手 おはなしボランティアグループ「よもよも」

「大きな絵本」の読み聞かせ会

28日(水) 午前10時30分～20分程度
青山公民館図書室 絵本コーナー

おはなしたいむ

28日(水) 午前10時30分～20分程度
大山田公民館図書室 おはなしの部屋

*読み手 おはなしボランティアグループ「きらきら」

☆絵本の読み聞かせ、紙芝居や手遊びなどをします。

新着図書紹介(上野図書館)

■一般書

『スノーフレーク—雪結晶のふしぎを探る』
ケネス・リブレクト/文
パトリシア・ラスムッセン/写真

空から降ってくる雪結晶には、同じ形をしたものはないといわれ、一瞬のうちに消えてしまう芸術作品にも例えられます。鮮明な顕微鏡写真で写し出された、透き通る雪結晶の写真が大変美しい本です。

『お手本なしの人生—「1リットルの涙」 亜也の詩』木藤亜也・木藤潮香/著
木藤亜也さんが難病と闘いながら綴った日記『1リットルの涙』はベストセラーとなり、映画化・ドラマ化でも話題を集めました。これは母・潮香さんが、亜也さんの残した言葉を1冊の本にまとめたものです。

■児童書

『ドキドキ! 忍者教室』吉川豊/著

忍者の隠れ里にある「いが栗小学校」の先生が、3人の生徒に忍術を教えます。忍びの心得や道具に始まり、「忍びこむ」「隠れる」「逃げる」などの忍術をまんが形式でわかりやすく説明していきます。

『生麦生米生卵 (声にだすことばえほん)』長谷川義史/作 斎藤孝/編
「坊主が屏風に上手に坊主の絵をかいた」「隣の客はよく柿食う客だ」などの早口ことばにのせて、今より少し昔の結婚式の日を描いた絵本です。ぜひ声に出して早口ことばを楽しんでみてください。

3月上野図書館展示コーナー

沖森文庫(郷土史)資料から、伊達政宗から藤堂高虎宛の書状のほかを写真により展示します。

【期間】 3月25日(日)まで ※毎週月曜日休館

【場所】 上野図書館2階 展示コーナー

「考えよう 子どもの人権」

新聞やテレビでは連日のように、いじめによる自殺や、わが子への虐待など、子どもたちが犠牲となる痛ましい事件が報道されています。

世界に目を向けてみると、罪もない子どもたちが、大人たちの勝手な戦争の犠牲となり、衛生的でなく、十分でない衣食住に苦しんでいます。日本は、1994年に「子どもの権利条約」に批准(守ることを約束)しました。

この条約は、18歳未満のすべての人の保護と基本的人権の尊重を促進することを目的として制定されました。子どもにとって一番よいことは何か、人間として幸せに生きるために何が必要なのかを大人たちが考えていくのです。そのためには、子どもを大人の都合で縛るのではなく、子ども一人ひとりを尊重し、個性を認め、そして自主性が保てるようにすることが大切です。

ところで、今の社会は子どもたちが生活する環境としてはどうなのでしょう。例えばいじめの問題です。最近のいじめの特徴は、多数の子が見て見ぬふりをする

どころか、次のターゲットになることを恐れていじめの側に加わり、一人を全体でいじめるケースが多いようです。また、いじめる方も暴力を振るうというよりも、言葉や文字で相手をか

らかったり、脅したり、あるいは仲間はずれにして無視するという、とても陰湿なものになっています。

いじめの根本的な原因は、人の心の中にあります。では、今の子どもたちの心の中の何が変わってきたのか、それは相手を理解し、その人の立場にたって考えるという心、そして社会のルールを守る

気持ちだと思えます。人の考え方や行動は、その人が育ってきた環境の中で、どのようなしつけや教育を受けてきたかによって大半が決まると言えます。もし、子どもが学校や家庭、地域で見せている姿に問題があるのなら、その子どもの背景にある、それが形成されてきた過程を併せて考えてみる必要もあるのではないのでしょうか。

(青山支所人権同和課)

明日に向かって

～差別をなくしていくために～

■このコラムは毎回いろいろなテーマで人権についてお話しています。ご意見等は本庁人権政策課 ☎ 22-9631 ✉ jinken@city.iga.lg.jp へ

健康だより



受動喫煙の害を防ぐ 分煙・禁煙のすすめ

たばこは、がんや動脈硬化などの生活習慣病や呼吸器障害を引き起こす大きな原因となることは、ご存知の方も多いでしょう。たばこには、これらの誘因となるニコチン・タール・一酸化炭素という3大有害物質が含まれているからです。この有害物質は喫煙者本人のみならず、周囲の人の健康にも悪影響を及ぼします。

★受動喫煙の害は、想像以上に大きい！

たばこを吸わない人が、喫煙者の近くにいることでたばこの煙を吸わされてしまうことを「受動喫煙」といい、喫煙と同様に健康に害を及ぼすといわれています。1日に20本以上のたばこを吸う配偶者を持つ人は、本人が非喫煙者であっても、肺がんによる死亡率が通常の2倍以上に高まります。子どもへの影響も深刻で、肺炎や気管支ぜん息など呼吸器系の病気にかかる割合が高くなることもわかっています。喫煙の害を防ぐためには、路上喫煙の禁止や他人にたばこの煙を吸わせない「分煙」が必要なのです。



★社会的に広がる分煙対策

平成15年に施行された「健康増進法」では、多数の人が利用する施設の管理者は受動喫煙の防止に努めなければならないとの規定が整備されました。また、条例で路上喫煙を禁止する自治体も全国的に広がっています。誰もが過ごしやすい環境をつくるために、施設や職場での分煙対策に積極的に協力しましょう。



★正しい知識をもって、禁煙を始めましょう

周囲の人だけでなく、自分の健康を守るためには、何よりも積極的な禁煙への取り組みが必要です。喫煙者の中には、健康のことを考えて低ニコチン・低タールのたばこに替えるという方もいるでしょう。しかし、ニコチン依存度の高い喫煙者は、体の中に一定のニコチン量が入らないと満足できないといわれています。つまり、低ニコチンのたばこでは、煙を吸い込む回数が増えたり、吸い込み方が深くなったり、さらに本数までも増えていき、結果有害となるおそれもあります。たばこについて正しい知識を持つことも禁煙への第一歩です。

近年では、医療保険の適応により病院での禁煙外来受診や禁煙補助剤（ニコチン貼付薬）を利用する人も増えています。またインターネットの禁煙支援サイトで仲間を見つけ励ましあうなど、禁煙に対する様々なサポート体制が整ってきています。これらをうまく活用し、健康を守る禁煙を始めてみましょう。

青山支所健康福祉課 保健師 宮田利恵



女性に特有のがんには、主として子宮頸部がん・子宮体部がん・卵巣がんそして乳がんがあります。子宮頸部がんでは年間約9000人が亡くなっています。最近の研究によれば子宮頸部がんの95%以上はヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が原因であると確認されています。欧米では、12〜13歳の少女に対して子宮頸部がん予防のためHPVワクチンの接種が始まろうとしています。日本ではまだ先のことになりそうです。当分の間は現行の方式でのがん検診が必要となります。子宮頸部から細胞を採取して診断する細胞診という方法で、がんの発見率は99%以上であるとされています。

子宮体部がんですが、年間約5000人が亡くなっています。発がんの原因は不明ですが、閉経後の肥満・糖尿病・高血圧症の人に多発するといわれています。がんの診断は子宮内膜の細胞診と超音波診断装置によります。卵巣がんは年間約3000人が亡くなっています。原因は不明ですが、時として家族性に発症するとされています。親族に卵巣がんの方がみえれば気を付けた方が良いでしょう。診断には超音波診断装置と血液検査での腫瘍マーカーが用いられます。



以上3種類のがんの死亡者数は年間の交通事故死者数を超えています。これらのがん検診法は大きな苦痛もありませんのでぜひ婦人科がん検診を受けてください。

なお、乳がんによる死亡者数は年間約15000人あり、最近マンモグラフィにより初期がんも高率に見つかるようになってきましたので、併せて受診されることをお勧めします。

婦人科部長 和田 俊一

聴診器 市民病院だより



婦人検診